

□ブラウザ

---

---

■Internet Explorer

- ・ 文書を印刷した場合、添付ファイルの表示に ActiveX を使用している環境では、添付ファイル領域はグレーで印刷されます。
- ・ ブラウザーのステータスバーに表示されるプログレスバーが、進み続ける場合があります。

■Microsoft Internet Explorer 6

- ・ UTF-8 で記述しているため、画面を切り替えると文字サイズが変わる場合があります。

■Windows Internet Explorer 7

- ・ 添付ファイルを自動で開く設定にしているのに自動で開かない、または自動で開いてもファイルをダウンロードできない場合があります。

回避策は以下のとおりとなります。

1. ブラウザーのメニューバーから[ツール]→[インターネットオプション]を選択します。
  2. [セキュリティ]タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。
  3. [ダウンロード]グループにある[ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示]の設定で、[有効にする]を選択します。
  4. [OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。
- ・ Windows XP SP2 の環境で、Windows Internet Explorer 7 を使用してファイルをダウンロードできない場合があります。  
Windows XP SP3 を適用するか、以下の手順で回避してください。
1. [スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックします。
  2. 「control international」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。
  3. [言語]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。
  4. [詳細設定]タブをクリックし、[詳細なテキスト サービスをオフにする]チェックボックスをオンにして、[OK]ボタンを2回クリックします。

※右記のサイトからの抜粋。 <http://support.microsoft.com/kb/932823/ja>

## ■Netscape 7.1

- Flash Player Version 9,0,28,0 は Netscape 7.1 では正常に動作しません。  
Version 9,0,16,0 にて動作確認を行っております。
- ブラウザーを最大化にしている状態で画面の操作を行うと、最大化が解除されることがあります。
- 添付ファイルをダウンロード、または参照した場合に、添付ファイル名にヘッダー情報が表示されます。保存時に任意のファイル名に変更してください。
- ファイルをダウンロードする場合、ファイル名の最後に「.do」が付加される場合があります。保存時にファイル名を修正するか、または次の手順を実行します。
  1. ブラウザーのメニューバーから[編集]→[設定]を選択します。
  2. カテゴリのツリーから[Navigator]→[サポートアプリケーション]を選択します。
  3. 「ファイルタイプ」から「application/x-download」を選択し、[編集]ボタンをクリックします。
  4. 拡張子「.do」を削除して、[OK]ボタンを2回クリックします。
- ウィンドウをスクロールする場合に、マウスホイールは使用できません。
- リサイズ時に罫線がずれる場合があります。
- ログイン直後のステータスバーに「～からデータ転送中..」が表示されたままになる場合があります。

---

## 簡易承認機能

---

- セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で承認文書を登録する場合、セキュリティ設定の[上位の設定を使用]のチェックは外せません。
- セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で、承認フォルダーの「キーワード設定」を変更した場合、承認文書のキーワードも承認フォルダーの設定に従って変更されます。

---

## フォーム文書

---

- フォームを作成する場合、部品の NAME 属性には日本語以外を指定してください。

---

全文検索

---

- ・簡易検索、詳細検索画面で検索条件に全文検索を含む場合、検索結果をソートすることはできません。

---

機密文書管理機能

---

- ・キー登録を行う場合に利用できる認証コードは、50文字までです。51文字以降は切り捨てられます。
- ・「1文書1添付ファイルとする」がオンに設定されているフォルダーで機密文書の更新を行った場合、マイキャビネットブラウザで『GlobalDocの「更新」ボタンを押下してください。』というダイアログが表示されます。[更新]ボタンをクリックする必要はありませんので、[OK]ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

---

サーバーツール

---

- ・削除対象のフォルダー、文書数が多いとき、ごみ箱文書削除ツールのデータベース処理でタイムアウトが発生する場合があります。タイムアウトが発生した場合は、データベースのタイムアウト時間を長く設定するか、-r、または-dr オプションで、削除対象が少なくなるように(※)指定してください。

※-r オプションを使用した場合は、「日数」に指定した値よりも大きな値を指定します。

-dr オプションを使用した場合は、指定した日付よりも過去の日付を指定します。

- ・システム環境設定の「更新前文書を表示」を「する」に設定している環境でサーバーツールを実行した結果、バックアップ階層を超えた場合には、指定した更新者ではなく、ツール実行者の「更新前文書」一覧に表示されます。

---

ファイルのダウンロード

---

- ・添付ファイルの表示にActiveXを使用していない環境の場合、保存ファイル名の初期値は「文書ID.拡張子」の形式になります。

---

バージョンアップ

---

- WebDAV 機能を利用する環境の場合、1.00R06 以前に削除した添付ファイルが、バージョンアップ後、WebDAV 文書としてごみ箱に表示される可能性があります。

※このデータは、ごみ箱文書削除ツールで削除できます。

- 1.00R06 以前に添付ファイルを削除して文書を移動していた場合、バージョンアップ後、削除した添付ファイルが復活する可能性があります。

---

GlobalFlow5 の制限事項

---

- セキュリティマスター編集画面で、セキュリティ簡易設定表示を利用して権限を設定する場合、ワークフローで使用する「書類監視権」は設定できません。

設定する場合は、セキュリティ詳細設定表示に変更して、設定してください。

---